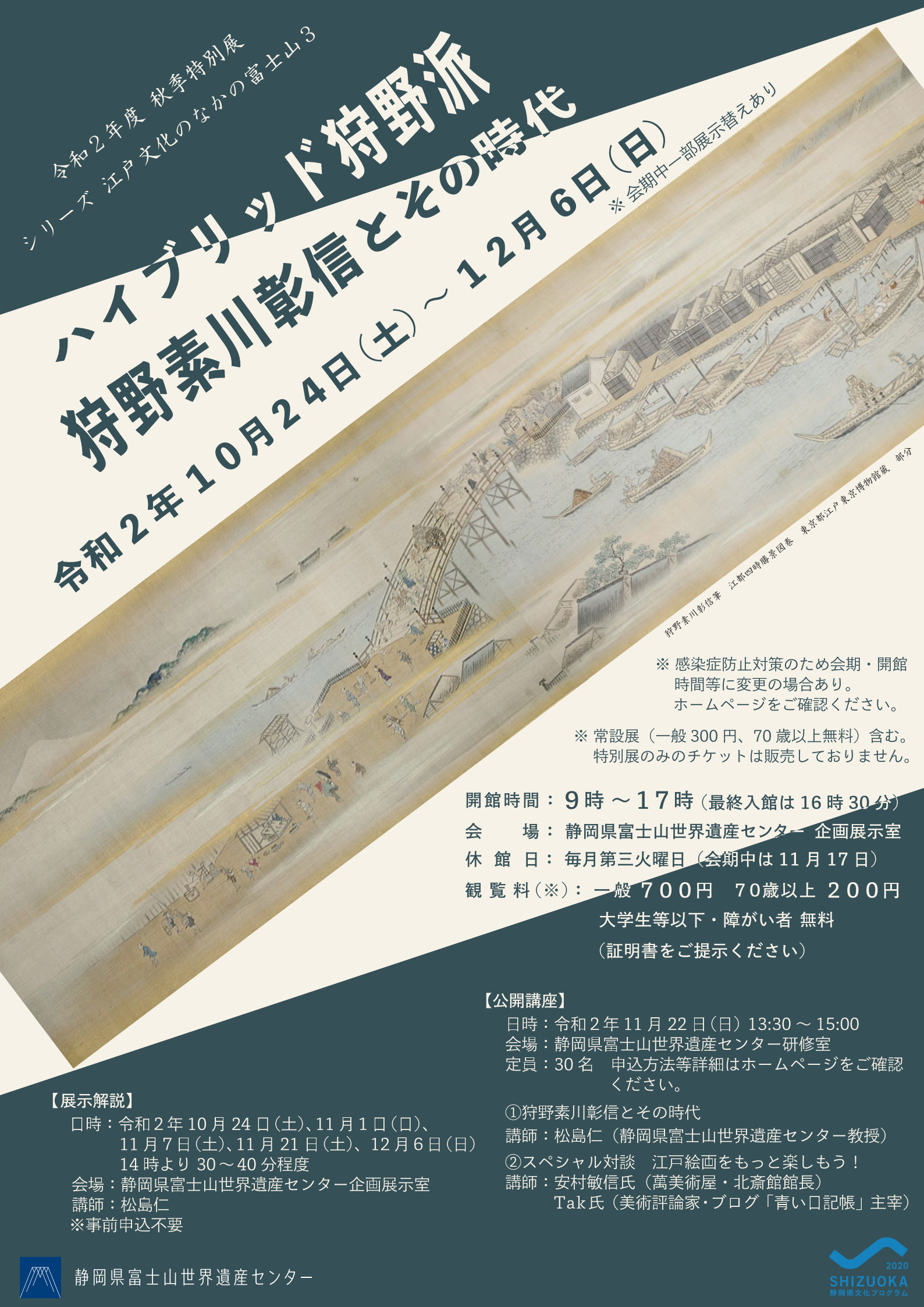


令和2年度 秋季特別展  
シリーズ 江戸文化のなかの富士山3

# ハイブリッド狩野派 狩野素川彰信と光の時代

令和2年10月24日(土)～12月6日(日)

※会期中一部展示替えあり



狩野素川彰信筆 江戸四時勝景図巻 東京都江戸東京博物館蔵 部分

※ 感染症防止対策のため会期・開館時間等に変更の場合あり。  
ホームページをご確認ください。

※ 常設展(一般300円、70歳以上無料)含む。  
特別展のみのチケットは販売していません。

開館時間：9時～17時(最終入館は16時30分)

会場：静岡県富士山世界遺産センター 企画展示室

休館日：毎月第三火曜日(会期中は11月17日)

観覧料(※)：一般700円 70歳以上200円

大学生等以下・障がい者 無料

(証明書をご提示ください)

## 【公開講座】

日時：令和2年11月22日(日) 13:30～15:00

会場：静岡県富士山世界遺産センター 研修室

定員：30名 申込方法等詳細はホームページをご確認ください。

### ① 狩野素川彰信とその時代

講師：松島仁(静岡県富士山世界遺産センター教授)

### ② スペシャル対談 江戸絵画をもっと楽しもう!

講師：安村敏信氏(萬美術屋・北斎館館長)

Tak氏(美術評論家・ブログ「青い日記帳」主宰)

## 【展示解説】

日時：令和2年10月24日(土)、11月1日(日)、  
11月7日(土)、11月21日(土)、12月6日(日)  
14時より30～40分程度

会場：静岡県富士山世界遺産センター 企画展示室

講師：松島仁

※事前申込不要



# ハイブリッド狩野派 狩野素川彰信とその時代

徳川将軍が統治した約260年、富士山は将軍の都江戸の文化的優位性を表象するアイコンと位置づけられました。とりわけ 1790～1840年代、寛政から文化、文政、天保年間にかけては、将軍家御用絵師の狩野伊川院栄信(1775～1828)・晴川院養信(1796～1846)父子のほか、谷文晁(1763～1840)や酒井抱一(1761～1828)、葛飾北斎(1760～1849)らの巨星がしのぎを削った江戸画壇の黄金期でしたが、彼らがひとしくとり上げた画題が富士山でした。

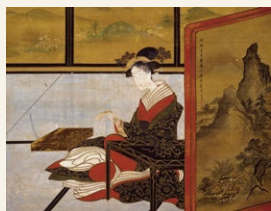
諸派が角逐したこの時代、ひときわ異彩を放った画家が、狩野素川彰信(章信)(1765～1826)です。表絵師のひとつ猿屋町代地狩野家の当主であった彰信は、「其絵称スル人多ク、伊川院ト相敵ス」(『古画備考』)とも評された実力者で、花街に遊蕩し吉原の老妓を多く門弟にもつなどの粹人でもありました。淡雅かつ潇洒でときに機知と諧謔性にとんだその作風は「素川風」と呼ばれ、「画を乞ふもの門前市を為す」ほどの人気を集めました。その一方で彰信は、浮世絵風美人画を手掛けたり、“江戸琳派”を彷彿させるような作品を残しました。彰信は酒井抱一や谷文晁、亀田鵬斎らとともに文化12年(1815)の千住酒合戦にも関与し、その模様を記録した「高陽鬪飲図巻」を寄書するなど、社会的立場や所属流派を越境しつつ同時代の文化界と交わりました。彰信はまた、川越や桐生など江戸周辺地域の文化動向とも密接な関わりをもちました。

シリーズ「江戸文化のなかの富士山」の3回目となる本展覧会では、将軍家御用絵師として探幽以来の伝統を発展的に継承しながらも、他派からも積極的に養分を吸収した“ハイブリッド狩野派”素川彰信の多彩な画業を回顧します。そのうえで彰信の富士山図にクローズアップし、ライヴァルと目された狩野伊川院栄信をはじめとする同時代の狩野派正系の作品と比較することで、その絵画的特質を浮き彫りにします。

【主な展示作品】 ※会期中一部展示替えあり



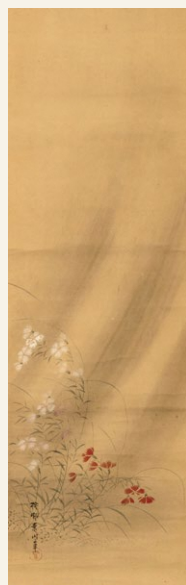
狩野素川彰信筆 仏涅槃図 個人蔵



狩野素川彰信筆 美人図 板橋区立美術館蔵



狩野素川彰信筆 内裏難図 板橋区立美術館蔵



狩野素川彰信筆 富士越龍・菖蒲夏雨・撫子秋風図 個人蔵



## 静岡県富士山世界遺産センター

〈ご利用案内〉  
開館時間 9:00～17:00 ※最終入館は16:30  
休館日 毎月第三火曜日(会期中は11月17日)  
観覧料 一般700円、70歳以上200円、大学生等以下・障がい者 無料(証明書をご提示ください)  
※常設展(一般300円、70歳以上無料)含む。特別展のみのチケットは販売しておりません。

〈お問い合わせ〉  
静岡県富士山世界遺産センター  
〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12  
TEL: 0544-21-3776 FAX: 0544-23-6800

〈アクセス〉  
JR身延線富士宮駅から徒歩8分  
新東名高速道路新富士ICから約10分  
東名高速道路富士ICから約15分

